

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月3日	記入者		連絡先	3815
平成18年度部名	消防本部	課名	消防総務課	課長名	門倉 豊
平成19年度部名	消防局	課名	消防総務課	課長名	門倉 豊
事務事業名	消防団詰所・車庫維持補修事業				
予算上の事務事業名	消防団詰所・車庫維持補修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				
施策名	第3施策 消防力の強化				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	消防法、消防組織法、消防力の基準、労働安全衛生法				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修	▼	5 事業開始年度	昭和63年以前	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
災害から市民を守るために、消防活動の地域の拠点となる消防団詰所・車庫の不具合箇所を修理し、災害出場に万全な体制を維持する。	市民全般 消防団員				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
平成18年度消防団詰所・車庫維持補修費 ・庁舎等維持補修費(不特定分) 2,836千円は、詰所・車庫の不具合箇所を修理したもの。 ・公共下水道接続工事(2件) 1,286千円は、汲み取りと浄化槽のトイレ改修し、公用下水に接続したもの。					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	他市においても消防団詰所・車庫の修理を実施し、災害出場に対応している。				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	4,314	2,929	4,147	5,410	5,410
一般財源	4,314	2,929	4,147	5,410	5,410
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	19	21	22	18	18
事業コスト合計	4,333	2,950	4,169	5,428	5,428
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	施設修繕			対象名称 と単位	消防団詰所・車庫 112施設
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	2,736	1,483	2,799	2,850	2,850
対象数	19	21	22	30	30
単位あたり経費(円)	144,000	70,619	127,227	95,000	95,000
前年度比		0.49	1.80	0.75	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	修繕件数	指標式と指標の説明	修繕要望件数に対するの実施修繕件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	19.0	21.0	22.0		
目標	19.0	21.0	22.0	35.0	35.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	完成修繕件数	指標式と指標の説明	修繕要望件数に対するの完成修繕件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	19.0	21.0	22.0		
目標	19.0	21.0	22.0	35.0	35.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		年々施設は老朽化していくが、消防団施設は設備等の不備による災害出場不能が許されない施設であり、必要な事業である。 緊急性を考慮し、今後も適正な事業を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
夜間など特殊な場合の不備発生時対応方法及び連絡体制の更なる強化を図る。			・庁舎改修時期までの修理実施範囲の判断。 ・具合発生時の連絡、対応方法。		
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		老朽化が著しく業務に支障のある施設を効果的に修繕すること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			